

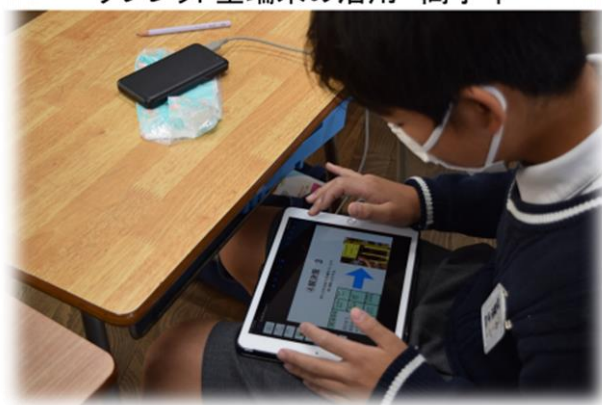
今年度最終日。令和5年度も大変お世話になりました。

今年度の学校だよりは、この65号が最終号になります。これまで、お読みいただきまして、本当にありがとうございました。今年度は3年間で一番発行することができました。毎年のことですが、ここまで学校だよりを出せたのは、毎日の子どもたちのがんばり、先生方のがんばり、そして、ご家庭のご理解とご協力、これにつきます。まず、そのことへの感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。(画像は拡大学校評議員会で使ったスライドの一部です。)

ここ最近の本荘小です



タブレット型端末の活用 高学年



メッセージを通して 心があたたかくなる



ご清聴ありがとうございました。



今後とも、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします

本日は修了式でした。各学級で一人一人に修了証が手渡されました。修了証とは、その学年ごとの教育課程が修了したことを証するものです。全員、無事に進級することができました。この日は、6年生がいません。59人の在校生は、何だか寂しげに見えました。しかし、すぐに次の学年へとステップアップしなければなりません。でも大丈夫です。あと2週間で新年度の新学期なのですが、この2週間で子どもたちは大きく成長します。大変楽しみです。こういった子どもの成長こそが学校の素晴らしさだと思います。特に、この本荘小は、子どもたちがよくわかっている学校です。きっと期待通りの姿で4月の新学期を迎えてくれることでしょう。期待しています。裏面に修了式の話を書かせております。その意味をしっかり理解して、新年度を迎えてくれることを心から期待して、今年度の学校だよりの締めくくりとしたいと思います。(校長)

校長先生の虫眼鏡 「修了式」

HP にアップするときは、スナップを掲載したいと思います。

令和5年度 修了式講話

1年生から5年生の皆さん、大きな声できれいに挨拶をしましょう。おはようございます。あー、立派な挨拶ですね。では、話を始めます。聞く姿勢を準備してください。

昨日、6年生は卒業しました。久しぶりに来賓の方々をお招きした出席者の多い式でしたが、12人の6年生らしい、一生懸命で一人一人の個性が伝わってくる感動の卒業式となりました。その式を陰ながら支えてくれたのはみなさんです。秘密プロジェクトもありがとう。式の準備、いろいろありがとう。床や廊下のお掃除ありがとう。卒業生の明るい未来のために、責任感と熱意でいろいろなことに取り組んでくれて感謝していますよ。

ついに、令和5年度の最後の日が来ました。修了式です。本当に1年間はあっという間でしたね。みんなしっかりとがんばったと思います。校長先生は、この1年間皆さんに色々なお話をしてきましたが、さて、最後のお話をしますね。しっかりと聞いていてください。

校長先生は、いつも人の生き方につながるお話をしてきたつもりです。そして、思いやりの心と感謝の気持ちをもって、みなさんが明るく笑顔でくらすことができるようにお話を考えてきました。

いいですか、よいお話を聞けば、よい行いをしたくなります。よい行いを何回も繰り返せば、自分のためになります。お勉強がわかるようになったり、体力がついたりします。自分に力がつくと、どうなると思いますか？人にやさしくなれるのです。困っている人を助けようと思うようになります。自分に力がついて、人にやさしくなるとどうなると思いますか？他の人から大切にされるようになるのです。そして、自分も相手を大切にする、相手も自分を大切にする、これが繰り返されると、毎日が楽しくなります。素敵になります。そして、もおっと多くの人々と出会いたくなり、もっと多くの人と助け合いたくなり、世の中がよくなっていきます。そんな世の中にしたいものです。

ここに「続」という字がありますね。よい行いは「続ける」ことが大事なのです。そして、自分の習慣にしていってほしいと思うのです。

ある料理学校の校長先生の若い頃の話です。あるお店で料理の修行をしていました。その時に汚れて傷ついている鍋が多いことに気づきます。どうしたと思いますか？その人は、毎日、お店が終わってから、頼まれてもないのに、鍋をきれいに磨き始めたのです。なぜなら、きれいな鍋で料理をすることで、自分より先輩のだれもが気持ちよく料理ができるのではないかと考えたからです。最初は、あまりにきれいに磨いていたので、勝手に新しい鍋を買っているのではないかと疑われたりしたらしいのですが、毎日、誰かのために鍋を磨くことを続けたのでした。どれくらい続けたかという、鍋を磨かないと心が落ち着かないくらい、毎日続けて、習慣としたのだそうです。

まず、まわりの人たちから感謝されるようになりました。それでも続けると、人として信頼され、認められるようになりました。まわりの人たちが、やさしく接してくれて、いろいろなことを教えてくれるようになりました。結果として、人よりも早く料理人として成長することができました。料理人として成長した、その人は、料理学校の先生、そして校長となり、もっと多くの人たちと助け合い、世のために尽くすことができました。

どうです。さっき校長先生が言った通りでしょう。よい行いをするためには、習慣が必要になります。習慣にするためには、続けることが大切です。よい行いを続けていけば、きっと自分を成長させ、自分以外の誰かの力になることができる人に成長することができると思いますよ。

明日からは春休みですね。校長先生がさっき見せた漢字、「続」を意識して過ごしてみませんか。今日聞いたよいお話を、よい行いに変えて、習慣になるようによい行いを続けること、そして、ただの春休みではなく、もっとよい春休みにしてください。

4月になれば、新しい人との出会いが待っているでしょうね。あと2週間で、そんな新しい世界の幕開けです。新しい学年で光り輝くみんなの姿を、校長先生は期待しています。いや、そうだと確信していますよ。

では、春休みも「思いやりの心で笑顔の本荘小にしましょう」。グッドラック！！